

事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2019年1月30日  
職員数: 6名 回収数: 6

社会福祉法人 富水会 児童発達支援事業わかば園

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3	2	1	利用者数(定員超過時)やベッドの専有面積等を考慮し、隣室との間仕切りを外してスペースを広くしたり、多目的ホール等広い空間での活動提供を心掛けている。
	2	職員の配置数は適切であるか	6			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	2	4		PDCAサイクルへの意識は職員によって差がある為、今後も継続して指導していきたいと考えている。
	5	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	1	1	評価表を用いての事業所の評価は、今回が初めての試みである。
	6	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか		5	1	平成30年度内に1回目の事業所評価結果を公表する予定です。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	1	3	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6			
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	6			
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	1	5		発達検査を用いる場合もあるが、数字に表すことができない日々の変化を見逃さないよう意識している。
	11	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	6			
	12	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	6			
	13	活動プログラムの立案をチームで行っているか	1	5		主題保育の月案は決められているが、1週間ごとローテーションを組んで日案をたてることで、全職員が立案に携われるよう意識している。。
	14	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	1		
	15	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	6			

	16	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6			
	17	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		6		振り返りは、当日以内でなく全職員が集える日中(11:00~)ミーティングの時間を設け、予定の打ち合わせや支援の振り返りを行っている。また、ヒヤリハット事案に対しては、早急な情報共有を心掛けているが、支援内容については週単位や月単位で振り返り、支援に反映させていくことが多い。
	18	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	2	4		特記事項のあった時は、ケース記録に詳細を記録するよう心掛けている。特記事項については、記録に残すよう児発管から改めて指示を出している。
	19	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	4	2		児童の成長や発達段階によって、支援内容については適宜変更している。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6			
	21	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	6			
	22	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の在宅支援のために、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	6			市保健センターや県立子ども病院と連携し、退院後なるべく早い段階で関わられるようにしている。通うのが難しいお子さんには訪問療育を行っている。
	23	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医や協力医療機関と連絡体制を整えているか	5	1		嘱託医や近隣の開業医等、緊急時の受診や相談できる関係作りを心掛けている。また、不調により入院された場合に、入院中の経過や退院後のケアについて詳細を確認できると、通園再開後によりきめ細やかな配慮ができると感じている。退院後や受診後は、保護者から情報提供して頂いているが、主治医との連携については課題がある。
	24	保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6			
	25	小学校や特別支援学校(小学部)との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5	1		体験入学等への職員の同行及び、入学前の移行支援会議への出席により児童の在園中の様子を情報提供できるようにしている。
	26	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	2		転園児の情報の共有や、研修には定期的に参加できるようにしている。
	27	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	6			
	28	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	5	1		
	29	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6			
	30	保護者の対応力向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	2	3	1	保護者の困り感に対して、その都度相談・助言をさせて頂いているが、ペアレントトレーニングについて具体的な説明や支援はしていない。今後も研修等のご案内は継続していく。

	31	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	1	
	32	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	6		
保護者への説明責任等	33	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	1	
	34	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3	3	保護者会は設立していないが、行事の時に交流が持てる場を提供している。現在保護者会の発足は予定していないが、今後も保護者参加行事等を通して、保護者同士が顔を合わせる機会を提供していく。
	35	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	3	3	職員全員が情報共有するまで時間を要することもあるため、早急に情報共有し統一した対応ができるよう努めていく。
	36	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6		
	37	個人情報の取扱いに十分注意しているか	6		
	38	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	1	
	39	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	6		年に1回、施設のお祭りを実施し、地域の方にもご案内し足を運んで頂いている。
	非常時等の対応	40	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	6	
41		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6		
		事前に、予防接種やてんかん発作等のこどもの状況を把握しているか	6		
42		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			該当者はいないが、突発的なアレルギー症状発症時には迅速に対応できるよう、リスク対応表に近隣病院の受診状況を記載してもらっている。また、アレルギー食品27品目に対しては、経口摂取未経験の食品把握の為、一覧表にて把握できるようにしている。
		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6		
		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	1	
43		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	5	1	考えられる身体拘束については、ひとりひとり個別支援計画に記載し、保護者の了承を得ている。